

## ディサースリア臨床研究 投稿規定

1. 本会誌は日本ディサースリア臨床研究会が発行する機関誌であり、ディサースリア臨床研究の進歩、発展に寄与することを目的とします。投稿者の筆頭著者は、本研究会の正・学生会員に限ります。
2. 投稿論文は和文とし、他誌へ未発表のものに限ります。論文の種類は総説、原著、症例報告、短報、臨床ヒントとし、投稿時に希望種別を明記して下さい。
3. 原稿はワードプロセッサを使用し、A4判の用紙1枚につき12ポイント、20字×20行で印字して下さい。
4. 原稿は原則として図表も含めて、原著、症例報告が刷り上がり5頁、短報、臨床ヒントが刷り上がり3頁程度とします。刷り上がり1頁の文字数は原稿用紙(400字)約4~5枚を目安にして下さい(図表は大きさにより適宜換算して下さい)。
5. 編集委員会が特に認めた場合は頁の超過も可能ですが、その際は超過頁の印刷代は著者のご負担下さい。また、特に作図を要する図表やカラー印刷の実費は著者が負担するものとします。
6. 第1頁に、論文種類(原著・症例報告・短報など)、題名、300字以内の要旨(原著、症例報告のみ。短報は不要)、キーワード、著者(共著者)の姓名、所属、およびその所在地を明記して下さい。なお、著者(共著者)名には必ずふりがなをつけて下さい。また、著者(校正の担当者)の連絡先(所在地、電話番号、ファックス番号、メール・アドレス)も明記して下さい。
7. 文献の書き方は、文中では引用順に1), 2), 3) ……の肩番号をつけ、本文末に次のように記載して下さい。

### a. 雑誌の場合

著者名(3名まで明記し、それ以上の場合には「, 他」「, et al」を用いて省略する): 題名.  
雑誌名(略誌名, 欧文誌はIndex Medicusに準ずる), 巻: 通巻頁, 年次(西暦).

Mathieson L, Hirani S, Esptein R, et al: Laryngeal manual therapy: a preliminary study to examine its treatment effects in the management of muscle tension dysphonia. *J. Voice*, 23: 352-366, 2009.

城本 修: ディサースリアにおける音声治療の現状と展望. *ディサースリア臨床研究*, 1: 6-12, 2012.

### b. 単行本(単著)の場合

著者名: 書名. 発行社名, 発行地, 頁, 年次(西暦).

西尾正輝: 標準ディサースリア検査. インテルナ出版, 東京, 25-26頁, 2004.

### c. 単行本(分担執筆)の場合

著者名(3名まで明記し、それ以上の場合には「, 他」「, et al」を用いて省略する): 題名.  
編者名「書名」, 発行社名, 発行地, 頁, 年次(西暦).

西尾正輝：運動性発話障害．伊藤元信，笹沼澄子（編）「新編言語治療マニュアル」，医歯薬出版，東京，271-305頁，2002．

8. 原稿の採否，論文の種類，掲載の順序などは編集委員会にご一任下さい．
9. 原稿は郵送の場合コピー1部（図表を含む，写真は2部ともオリジナル）を添えて，合計2部を簡易書留便で下記宛にお送り下さい．編集委員会で採択が決定した際には，最終原稿にCD-R等の電子化原稿を添付して下さい．一旦投稿された原稿は返却しません．
10. 電子メール投稿の場合，必要書類をE-mailで送付して下さい．本文については，Microsoft Wordを用いてください．図，表，写真については，Microsoft Word, Excel, PowerPointを用いてください．写真については，JPEGまたはTIFFの単独データでもかまいません．なお，写真の解像度は300dpi以上を目安としてください．
11. 印刷の著者校正は初校時に一度依頼し，再校以降は編集委員会にて行います．
12. 本誌に掲載された記事，論文などの著作権は日本ディサースリア臨床研究会に帰属するものとします．

原稿送付先：鈴木真生

〒198-0004 東京都青梅市根ヶ布 1-642-1 多摩リハビリテーション学院 日本ディサースリア臨床研究会事務局 E-mail: gakujutsu@tama-riha.ac.jp